

140

140年分の「ありがとう」を未来へ

百十四銀行会社説明会

2019年2月13日



百十四銀行

(東証1部 : 証券コード8386)



昨年のアンケート結果

■ 昨年のアンケートで、株主優待や割安感、財務体質等で高い評価をいただいた一方、当行の強みや成長性をもっと説明すべきとのご意見をいただきました。

【2017年度 百十四銀行会社説明会 アンケート結果】



親近感

株主
優待

割安感

財務
体質



配当金



当行の強み

成長性

目次

I. 百十四銀行について	P 4
II. 2018年度業績見通し	P 7
III. 当行の強み	P 9
IV. 当行の成長戦略	P 14
V. その他の取組み	P 21
VI. 株主さまへの還元	P 26
VII. まとめ	P 31

I . 百十四銀行について

百十四銀行のプロフィール

- 当行の創業は1878年、おかげさまで昨年140周年を迎えました。
- 資金量は地方銀行64行中、約30番目に位置しております。
- 百十四グループ全体で、総合金融サービスを提供しております。

● 会社概要

2018年9月末現在

● 百十四グループ

本店所在地	香川県高松市亀井町5番地の1	
創業	1878年11月1日	
総資産	4兆9,643億円	
総預金	4兆1,147億円(譲渡性預金含む)	
貸出金	2兆8,142億円	
資本金	373億円	
発行済株式数	300,000千株	* 足元は、30,000千株
従業員数	2,317人	
店舗数	124店舗(本支店103、出張所21) 海外駐在員事務所 2(上海・シンガポール)	

百十四銀行

百十四財田代理店(株)

百十四リース(株)

日本橋不動産(株)

百十四ビジネスサービス(株)

(株)百十四人材センター

(株)百十四システムサービス

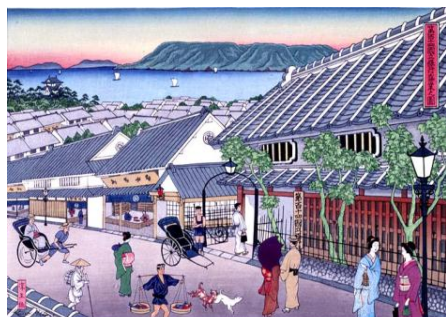
(株)百十四ジェイシービーカード

(株)百十四ディーシーカード

百十四総合保証(株)

百十四銀行の歴史

- 1872年(明治5年)に公布された国立銀行条例に従い、1879年(明治12年)までに153の国立銀行が設立されました。このうち、高松市に114番目に設立されたのが、当行の前身である第百十四国立銀行です。



創業当時の建物(1887年頃)
「第百十四国立銀行盛業の図」
三井淳生画



旧本店
(現在の高松支店)

創業
140周年

1872年
1878年

第百十四国立銀行として創業
国立銀行条例が公布

商号を(株)百十四銀行に変更

1948年

本店を現在地へ移転

1966年

1973年

東証一部上場

1978年

創業百周年
預金残高1兆円達成

1995年

預金残高3兆円達成

2016年

四国アライアンス包
括提携

2018年



空襲で被災した
旧本店



現在の本店ビル

Ⅱ．2018年度業績見通し

2018年度業績見通し

■ 有価証券ポートフォリオの見直しの影響等で、連結・単体とも減益決算の見通しですが、当行の強みや成長戦略実行を通じて、収益向上及び健全性確保に努めます。

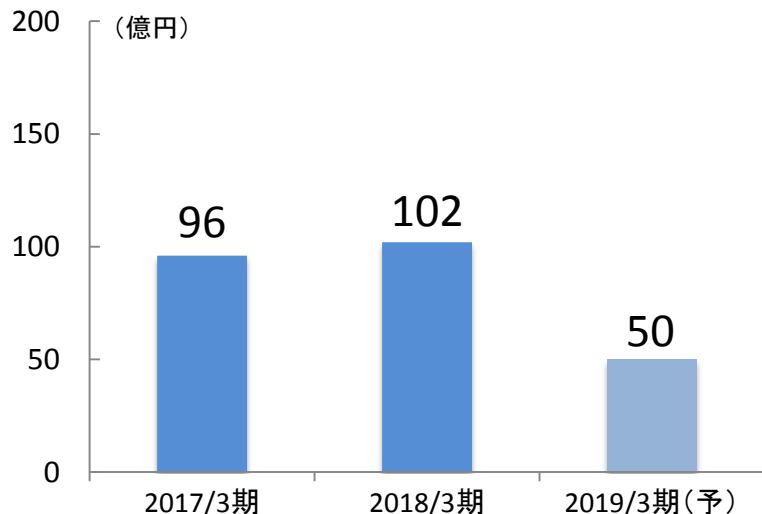
親会社株主に帰属する当期純利益

親会社株主に帰属する当期純利益は、有価証券ポートフォリオの見直しによる有価証券利息及び債券関係損益の減少などにより、前期比52億円減少の50億円の見通しです。

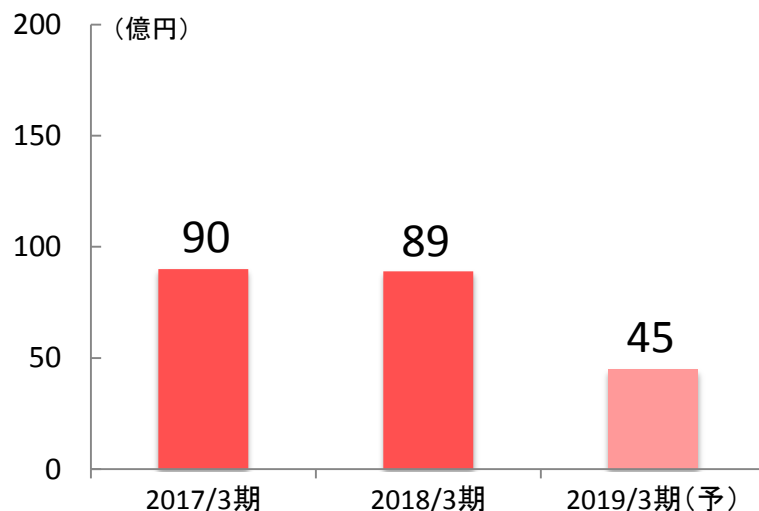
当期純利益

当期純利益は、連結と同様の理由により、前期比44億円減少の45億円の見通しです。

連結



単体

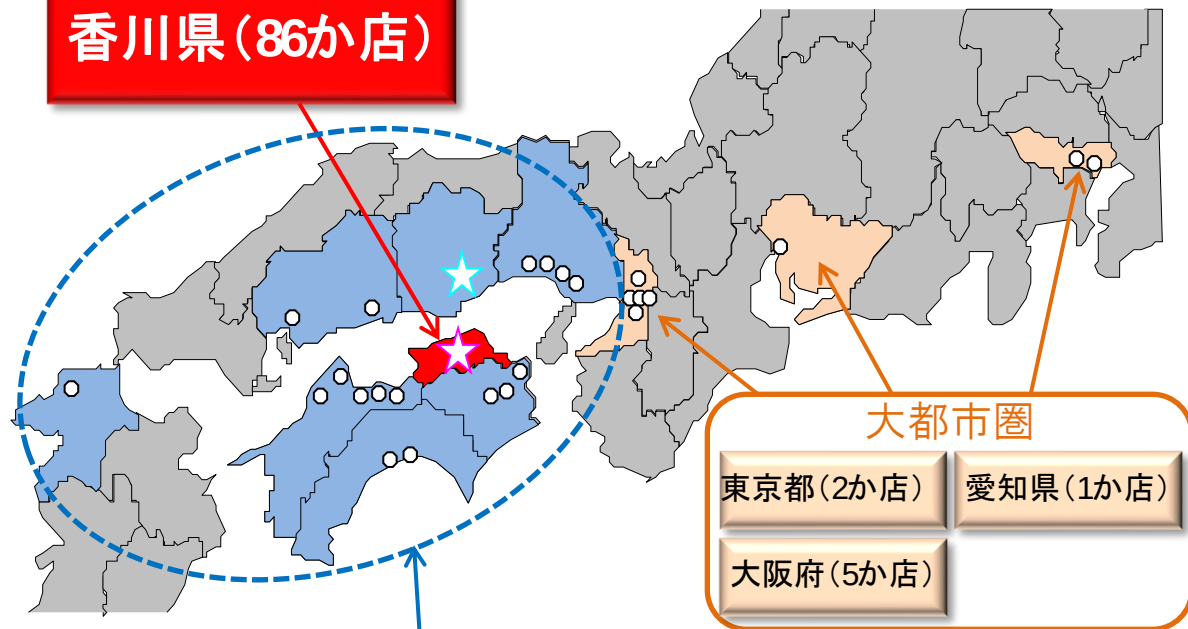


Ⅲ. 当行の強み

歴史ある広域店舗網

■ 早くから県外出店を進めた結果、11都府県に亘る広域店舗網を有し、古くからのお客さまも多くいらっしゃいます。地元と県外のお客さまの“縁”を取り持ちます。

香川県(86か店)



大都市圏

東京都(2か店)

愛知県(1か店)

大阪府(5か店)

広域瀬戸内圏

岡山県(13か店)

広島県(2か店)

福岡県(1か店)

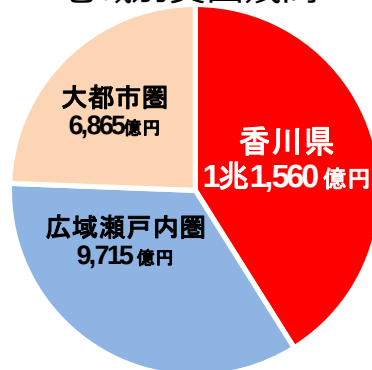
愛媛県(5か店)

高知県(2か店)

徳島県(3か店)

兵庫県(4か店)

地域別貸出残高



開設年

支店名

1950年

大阪支店

1952年

岡山支店

//

東京支店

1958年

広島支店

1961年

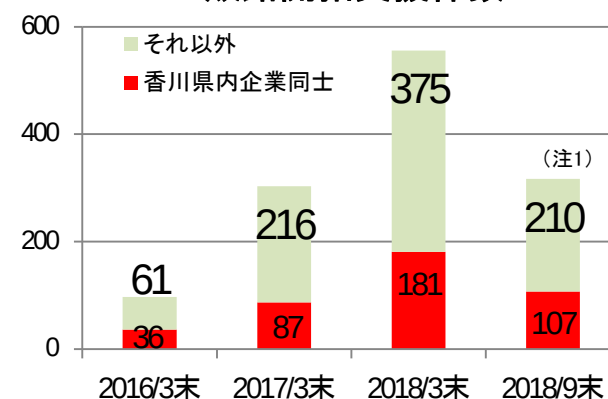
神戸支店

1964年

名古屋支店

(件)

販路開拓支援件数



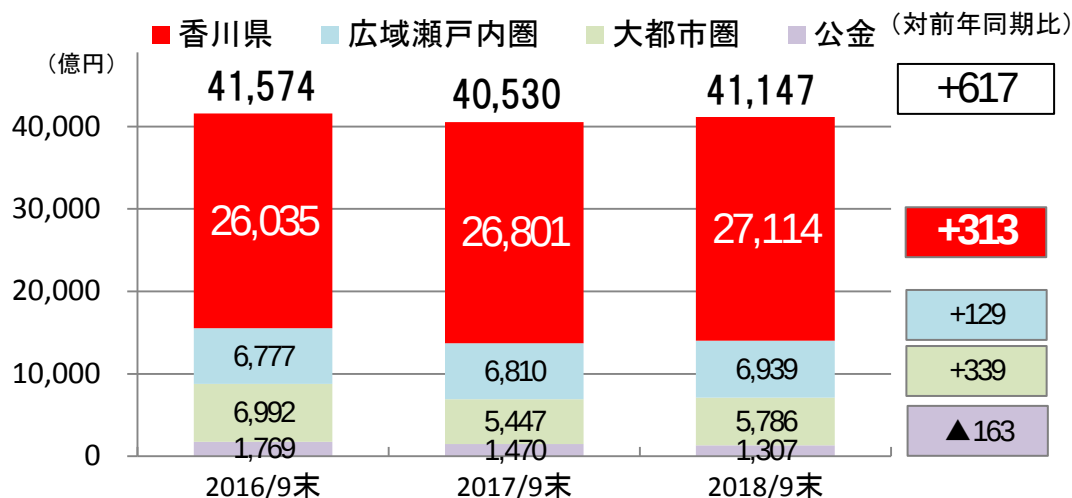
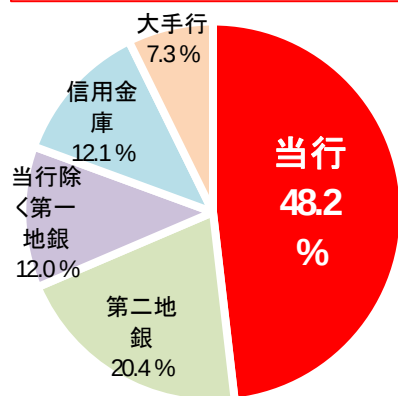
(注1) 2018年9月末時点(6か月)の実績

地元香川県における高いマーケットシェア

都市銀行、地方銀行などの競合が激しいなか、香川県内では預金・貸出金とも着実に増加しており、No.1のシェアをいただいております。

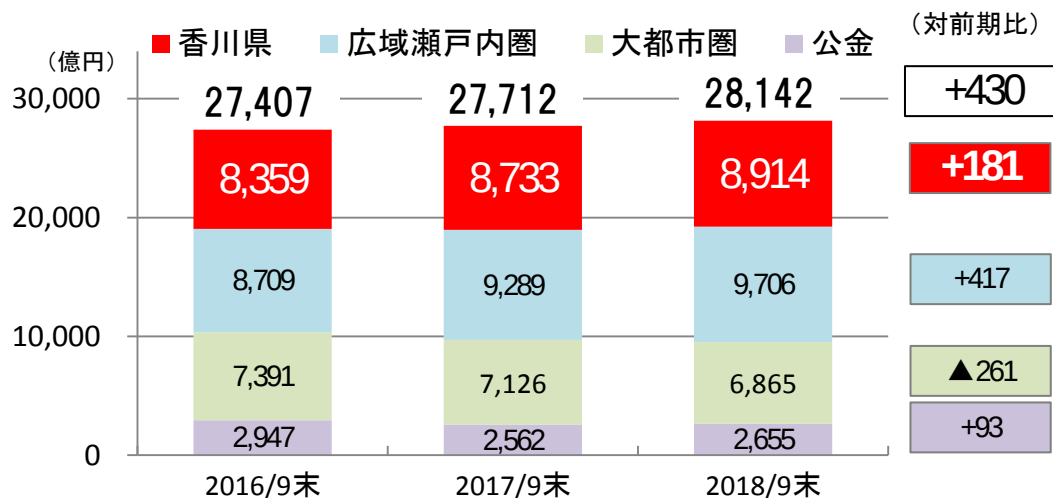
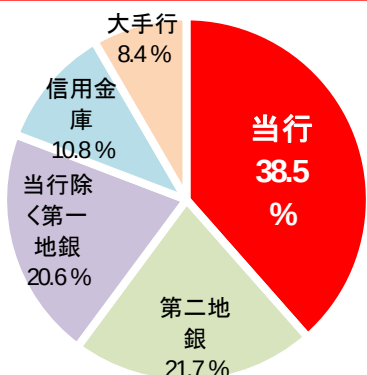
総預金

香川県内預金シェア



貸出金

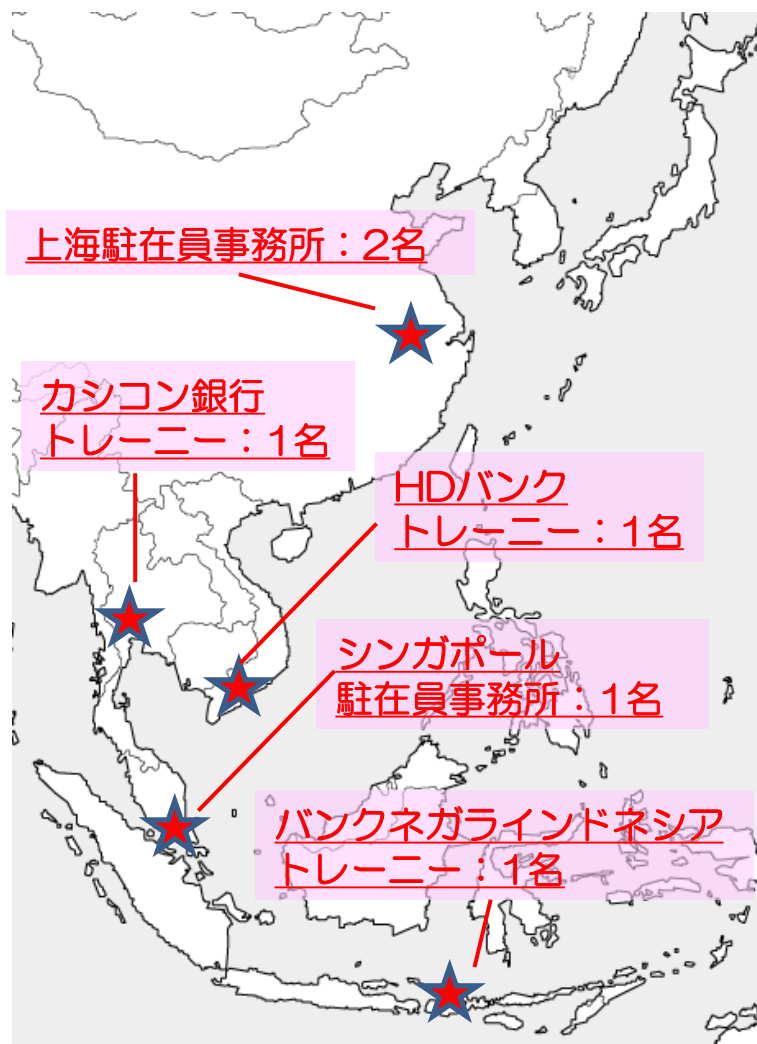
香川県内貸出金シェア



広域瀬戸内圏: 県外四国、岡山、広島、兵庫、福岡
大都市圏: 東京、名古屋、大阪

地方銀行トップレベルの国際業務

- 海外に滞在する行員や提携企業とも連携し、お客さまの海外進出や資金調達等のご支援を積極的に行っており、外貨預金及び貸付残高は地銀トップレベルです。



◆ その他海外業務提携先

- 中国／バンクオブチャイナ（北京及び東京）
- 台湾／中国信託ホールディング
- フィリピン／メトロポリタン銀行
- インド／インドステイト銀行

◆ 主な業務提携先(国内)

- 物流／日本通運(株)
- 保険／東京海上日動火災保険(株) 他
- 警備／総合警備保障(株)、セコム(株)
- コンサルティング／(株)フォーバル、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)
- 越境EC／アリババ株式会社
- レンタルオフィス／CROSSCOOP SINGAPORE PTE.LTD.



四国インバウンド商談会
inバンコク

外貨預金残高
7位/地銀64行中

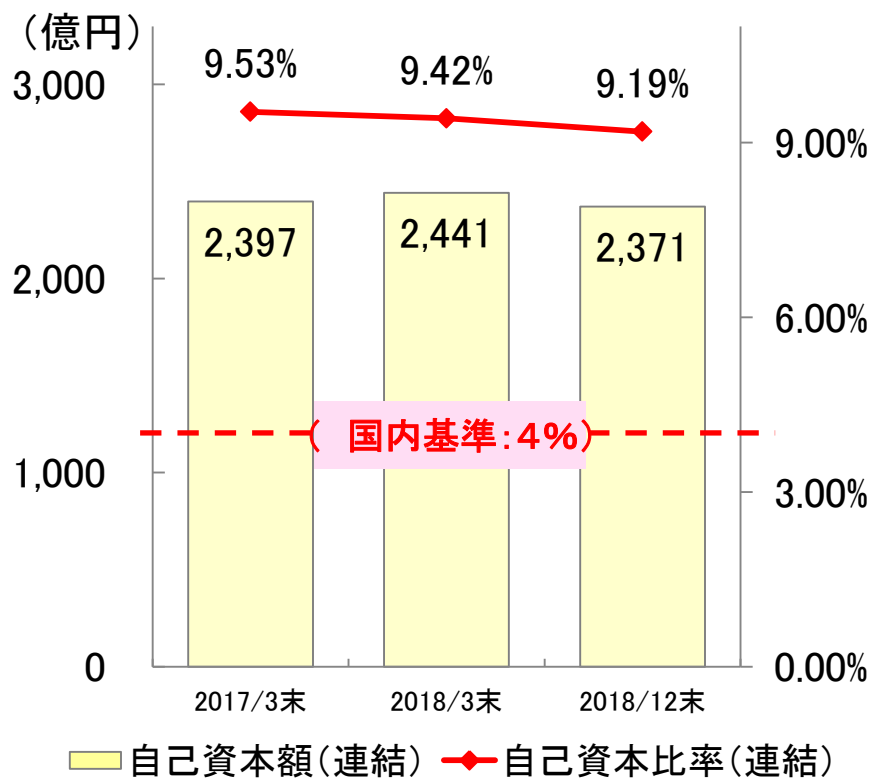
外貨貸付残高
9位/地銀64行中

2018年3月末時点

健全性の状況

■ 自己資本比率は連結ベースで9.19%となりました。国内基準で必要とされる4%を上回っており、当行の健全性は確保されております。

連結自己資本比率



外部格付け

ムーディーズ Moody's			日本格付研究所 JCR		
Aaa			AAA		
Aa1	Aa2	Aa3	AA+	AA	AA-
A1	A2	A3	A+	A	A-
Baa1	Baa2	Baa3	BBB+	BBB	BBB-
Ba1	Ba2	Ba3	BB+	BB	BB-
B1	B2	B3	B+	B	B-
Caa1	Caa2	Caa3	CCC	CC	C
Ca	C				

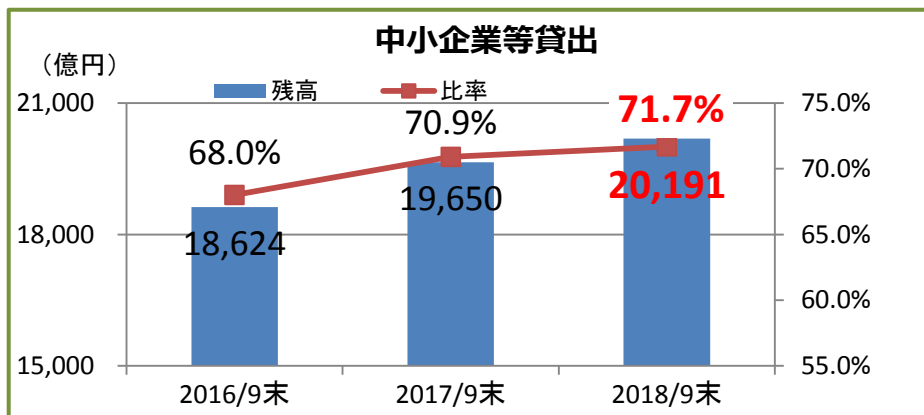
高い ↑ 安全性 ↓ 低い

IV. 当行の成長戦略

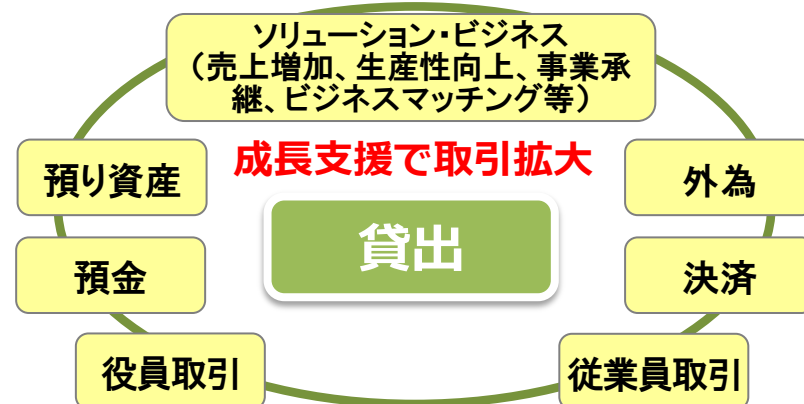
法人のお客さまの成長支援

■ 事業性評価に基づいた地元中小企業のお客さまの成長をサポートすることで、取引を充実させ当行の利益拡大を図っています。

お客さまの成長支援



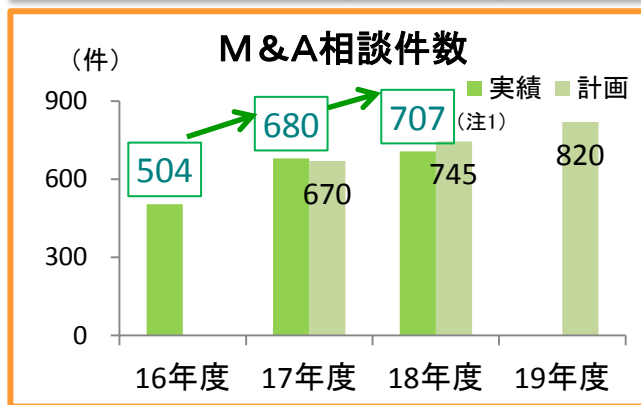
顧客基盤の拡大



事業承継(M & A)

生産性向上

事業性評価



(注1) 2018年12月時点(9か月)の実績

全国初!

うどん県IT活用推進コンソーシアム

昨年4月、IT利活用の推進による中小企業の生産性向上を目的に、IT経営の専門家組織等と共同設立しました。

IT導入補助金2018年度1次・2次採択結果 (累計)

順位	採択数(件)	順位	採択数(件)
1	東京都 3,368	10	千葉県 560
2	大阪府 2,072	11	静岡県 535
3	愛知県 1,415	12	香川県 498
4	福岡県 966	13	広島県 432
5	神奈川県 953	14	岡山県 407
6	兵庫県 893	15	熊本県 391
7	埼玉県 740	25	石川県 253
8	北海道 734	35	和歌山県 153
9	京都府 643	47	秋田県 74

出所) 中小企業庁

(注2) 都道府県内の事業者数に占める採択企業数の割合

採択企業割合(注2)は
全国1位

個人のお客さま及び地域活性化の取り組み

■ 金融資産形成等の支援で個人のお客さまの安心で豊かな暮らしの実現や、金融の枠を超えた支援で地域の活性化の実現に取り組んでいます。

個人のお客さまへの取り組み

就職 結婚 住宅 教育 退職 セカンドステージ

インターネットバンキング・給与振込 年金受取指定

クレジットカード・無担保ローン・住宅ローン 遺言信託

積立投信・iDeCo・NISA 投信信託・金融商品仲介・保険

iDeCo（個人型確定拠出年金）

- iDeCoは、「積立時」「運用時」「受取時」、それぞれに税優遇あり
- 企業の福利厚生、個人の老後資産形成に有効

iDeCo契約者数上位10金融機関（2018年3月末）（単位：人）

	金融機関名	契約者数		金融機関名	契約者数
1	中央労金	28,772	6	百五銀行	8,507
2	八十二銀行	17,572	7	滋賀銀行	8,216
3	百十四銀行	10,314	8	鹿児島銀行	8,150
4	中国銀行	9,835	9	愛知銀行	7,324
5	山陰合同銀行	8,829	10	東海労金	6,949

出所）「ニッキン」6月22日

地域活性化の取り組み

◆まんのう町の「ひまわり」ブランディングの支援

- ✓ひまわりを120万本へ増やしPRすることを提案
- ✓「ひまわりオイル」の新商品開発をサポート
- ✓ネットドラマ「まんのう町のひまわりちゃん」を制作



❖県産品コンクール❖

全国に発信できる優れた県産品を掘り起こすコンクール。2018年は全123点の応募があった中で見事に最優秀賞を受賞！



チャネル改革（対面チャネル）

- 店舗については、統廃合やお客さまのニーズを踏まえた店舗形態の見直し等の戦略的な再編に加え、処理時間短縮に向け店頭スタイル転換にも取り組みます。

対面チャネル（店舗）の再編成

人口減少

ICTの進展

キャッシュレス

- ✓ 窓口来店客数の減少
- ✓ インターネット取引の増加

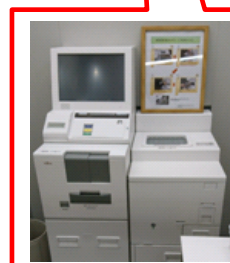
5年～10年をかけて
2割程度の店舗を削減

+

お客さまのニーズや地域分析などを
踏まえた店舗形態の見直し

店頭スタイルの転換

お客さまの待ち時間短縮や伝票記入等の手間の削減を目的に、新たな店頭スタイルの試行を実施中。来年度中に19か店まで拡大の予定です。



リサイクルキャッシャー

- ✓ お客さまによる
大口・あるだけ入金

伝票レス

即時処理



QC（クイックカウンター）

- ✓ 窓口のATMで入出金・振込・税金納付まで対応（伝票不要）
- ✓ 操作は行員がサポートします

チャネル改革（非対面チャネル）

■いつでも、どこでも、さまざまな銀行取引が行えるよう、スマートフォンを中心としたインターネット取引の拡充に取り組んでおります。

● 百十四銀行アプリ

2018年1月、「百十四アプリ」の取り扱いを開始。
 昨月、新たな機能の追加により、お客さまの利便性が飛躍的に向上しました。



● 「114スマート通帳」（無通帳・残高照会）

口座の残高と明細をいつでも確認できます

アプリの設定や口座の追加はこちら

メモや取引内容を検索できます

既存口座からの切り替えも可能

✓紙の通帳が不要に！
 ✓スマートフォン上で手軽に口座の資金管理が可能
 ✓取引明細にメモを書いたり取引内容の検索が可能

百十四銀行の普通口座や貯蓄口座を登録すると、アプリからすばやく簡単に、口座残高や入出金明細をご確認いただけます。

● 家計簿機能・ライフプラン診断

月/年の切替カレンダー表示など多彩な自動表示

提携企業のスマホサイトを利用し、ライフプランを簡単にシミュレーション

✓当行口座だけでなく他行口座や各種ポイントサービスとも連携
 ✓取得したデータを住宅費や食費等のカテゴリ毎に自動で仕分け
 ✓グラフ表示やカレンダー表示で月々の収支を簡単に管理可能

四国アライアンス

- 四国の地銀4行による包括提携「四国アライアンス」では、「興す」「活かす」「繋げる」「育む」「協働する」の5つのテーマのもと、数多くの施策に取り組んでいます。

- 四国アライアンスキャピタル株式会社の本格稼働

共同設立したファンド運営会社「四国アライアンスキャピタル」を通じて事業承継や再生支援に取り組んでいます。

実績（2018年12月末現在）
投資実行件数：3件



四国アライアンスキャピタル(株)

事業承継ファンド
40億円

再生ファンド
30億円

四国創生

- 4行でのビジネスマッチング

2017年5月の開始以降、4行のネットワークを活用してニーズ登録件数、成約件数ともに順調に増加しています。

実績（2018年9月末現在）
ニーズ登録件数：2,565件
成約件数：458件

より精度の高い情報の提供により
成約率向上を図る

- その他の施策

2018年4月

➤ いよぎん証券を「四国アライアンス証券」に社名変更

2018年6月

➤ 「新幹線を活かした四国の地域づくりビジョン調査」を発表

2018年7月

➤ 「第2回四国輸出商談会」を開催

➤ 4行合同による「次世代リーダー研修会」、「女性リーダー研修会」を開催

2018年8月

➤ 徳島県三好市で開催された「ウェイクボード世界選手権大会2018」に協賛

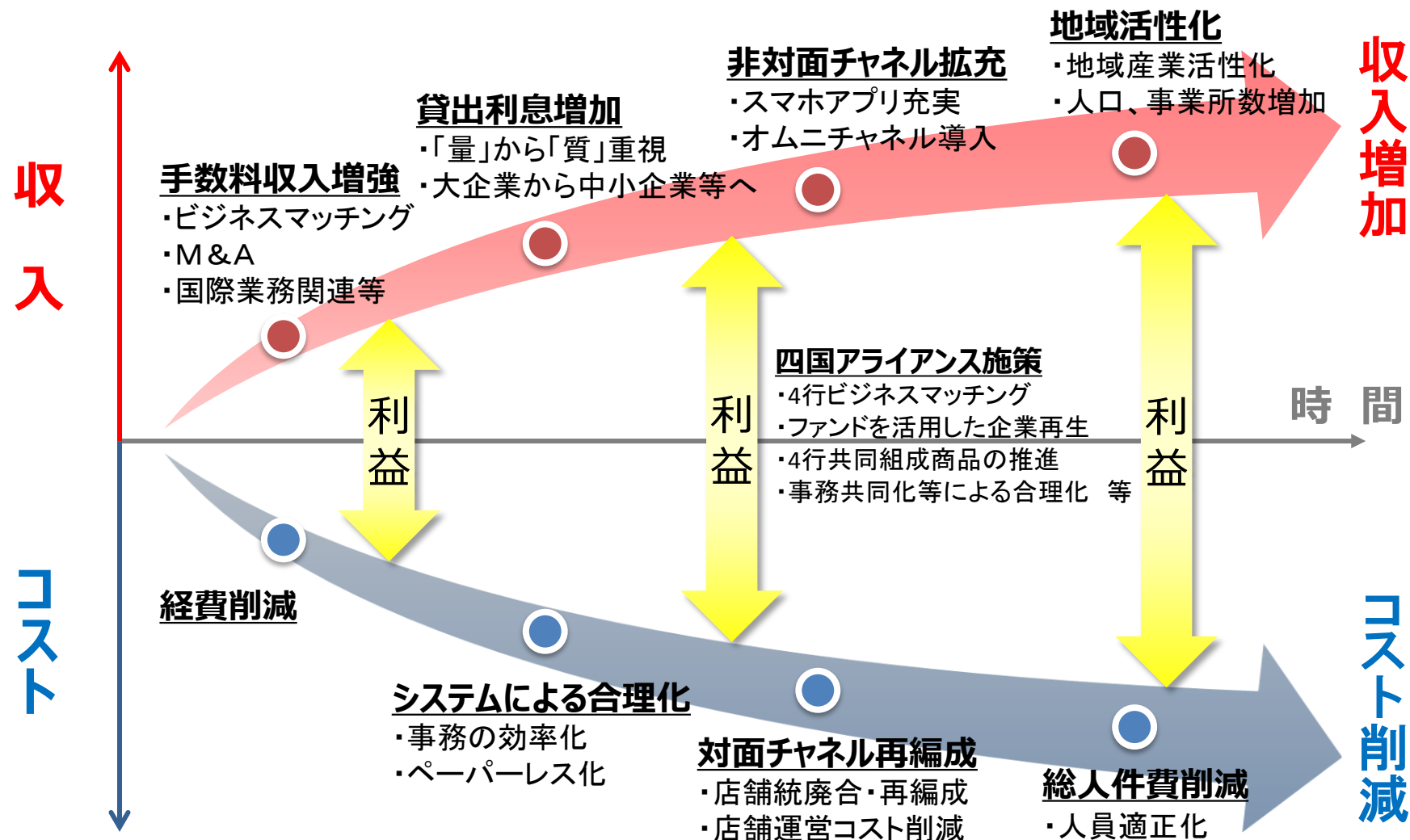
2018年11月

➤ 「四国インバウンド商談会inバンコク」を開催



各取組みの利益への貢献について

■ 効果が表れるまでに時間を要するものもありますが、各種施策の実施により着実な利益拡大を図ってまいります。



V. その他の取組み

ESGへの取組み（環境） Environment

■ 地域の森林育樹活動、省エネ店舗等を通じて、環境配慮型社会の実現に取り組んでいます。

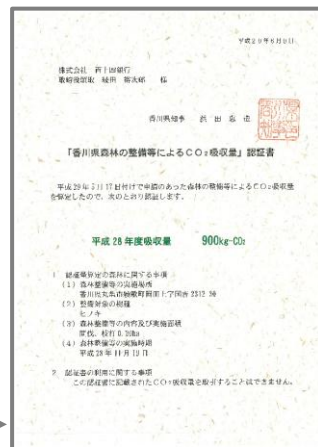
フォレストマッチング



創業130周年事業として
開始した「フォレストマッチング協働の森づくり」。

一昨年から、四国アライアンス4行が各行の実施している森林保全活動に相互参加しています。

CO2吸収量認定書



省エネ店舗



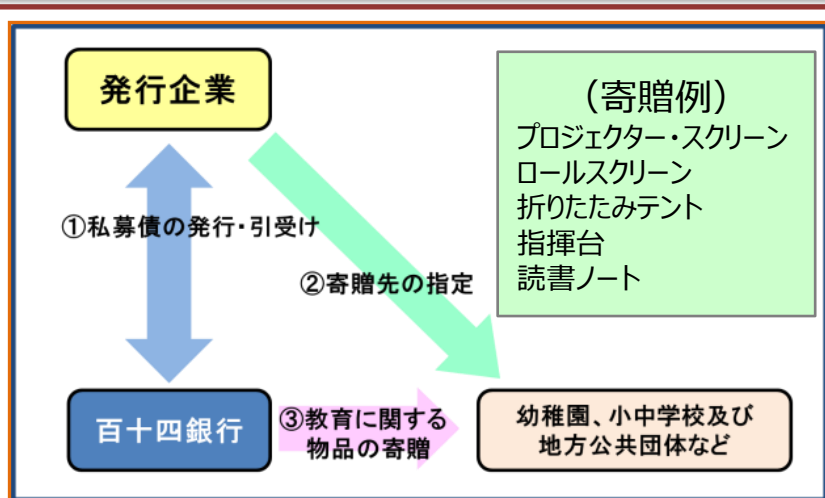
本店ビルは「ダブルスキん工法」を用いた大規模改修で省エネに貢献した等の理由から「BELCA賞^(注) ベストリフォーム賞」を受賞しております。

(注)公益社団法人ロングライフビル推進協議会(BELCA)が選定する、長期にわたり適切な維持保全(ロングライフ部門)や優れた改修(ベストリフォーム部門)を実施した既存建築物を表彰する制度。本店ビルは二部門で受賞した全国初の建物。

ESGへの取組み（社会） Social

- 本業活動を通じてお客さまや地域の成長を支援するとともに、やりがいを持って長く働ける体制や環境の整備に積極的に取り組んでいます。

CSR私募債（百十四地域アシスト債）



発行企業さまからいただく手数料の一部で、教育に関する物品等を購入し発行企業さまが指定する学校や地公体へ寄贈します。



事業所内保育所（百十四ももっこらんど）



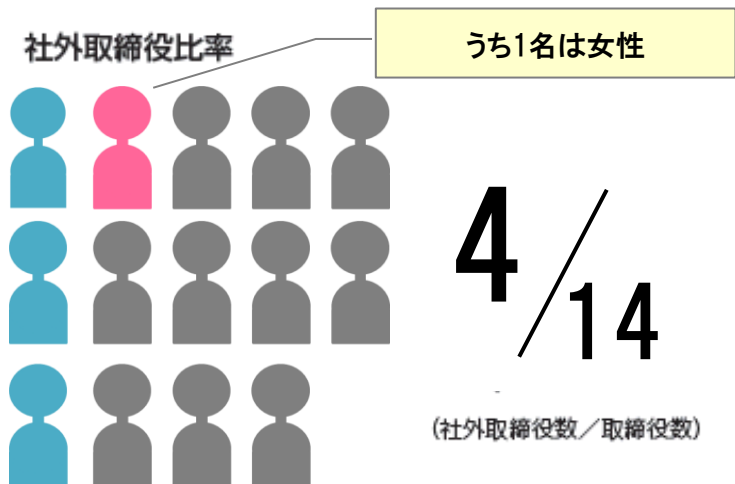
女性行員が安心して働くことができる環境整備として、昨年4月、本店隣に事業所内保育所「百十四ももっこらんど」を開設しました。



ESGへの取組み（ガバナンス） Governance

- 社会公共性の高い地方銀行の持続的な成長にはガバナンス強化が不可欠との考えのもと、態勢強化及び意識向上に向けた取組みを実施しています。

社外取締役による監督強化

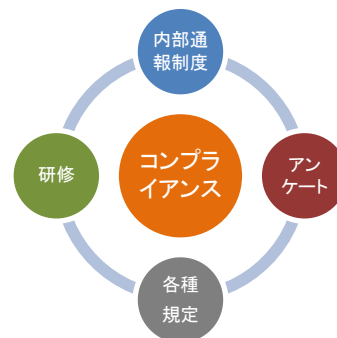
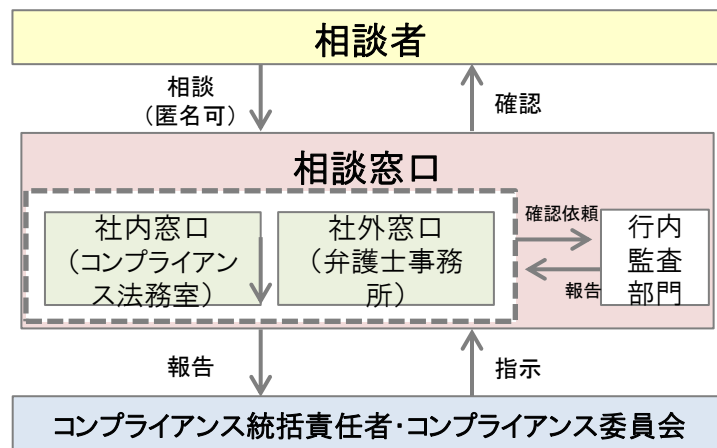


2017年6月に監査等委員会設置会社へ移行。
4名の社外取締役を選任し、社外の視点による客観的で透明性のある監督・監査の強化を図っております。

ガバナンス態勢のさらなる強化

コンプライアンス体制の整備

不正行為等の未然防止と早期発見を目的に内部通報制度「‘ほっと’ダイヤル」を設置。



コンプライアンスに係る
態勢強化及び意識向上

創業140周年記念事業

■ 昨年11月1日に創業140周年を迎えました。記念事業を通じてお客さまや地域の皆さまに対して感謝の気持ちをお届けしました。

● お客さまへの感謝

◆ 来店感謝運動の実施

140周年当日(11月1日)に、全営業店で来店感謝運動を行いました。



◆ 創業140周年記念マーケットセミナーの開催

百十四経済研究所との共催で、マーケットセミナーを開催しました。



◆ キャンペーン・イベントの実施 〈現在実施中のキャンペーン〉

◆「投資信託キャンペーン」(～2019年3月29日)

- ①対象の商品を100万円以上ご購入
→ 1商品につき抽選で140名にQUOカード(3,000円)
- ②「ミライへのおくりもの」を月額1万円以上お申込み
→ 抽選で1,400名にQUOカード(500円)
- ③114ダイレクトで累計30万円以上お申込み
→ 抽選で1,400名にDCギフトカード(500円) * 全て個人の方のみ



◆「米ドル建外貨預金キャンペーン」(～2019年2月28日)

- ①円貨から外貨定期預金に5,000米ドル以上お預入れ
→ 1か月:6.0%、6か月:2.5% (為替手数料優遇)
- ②114ダイレクトでお預入れ(個人の方のみ)
→ 為替手数料0銭



※キャンペーンの詳細は最寄りの営業店にお問い合わせください

● 地域社会への感謝

◆ バーバパパ号の運行

ことでん琴平線でバーバパパ号を今春まで運行中。



◆ ドッジボールの寄贈

香川県下の小学校(159校)に、ドッジボールを約1,500個寄贈しました。



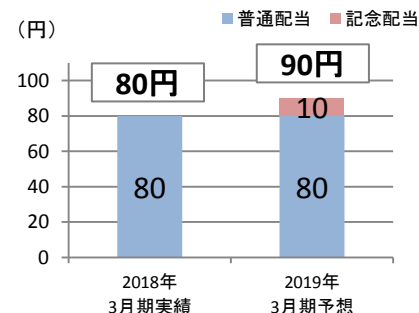
● 株主さまへの感謝

◆ 記念配当の実施

2019年3月期は10円(注)の記念配当を実施方針です。(中間配当5円は実施済)

(注)2018年3月期より株式会社(10株を1株)をしているものとして表示しています

年間配当金の推移



VI. 株主さまへの還元

株主さまへの還元①（利益還元方針と実績）

■ 今後とも株主の皆さまへの還元を着実に実施してまいります。2019年3月期は、創業140周年を記念し、1株あたり10円の増配を予定しております。

【年間配当】

2016年3月期より1株当たり8円を継続しています（株式併合考慮後では80円）

【創業140周年記念配当】

2018年11月1日に創業140周年を迎えるにあたり、株主の皆さまの日頃のご支援にお応えするため、2019年3月期の中間期末については50銭（お支払済）、期末については5円00銭の記念配当を実施する予定です（株式併合考慮後では年間10円の記念配当）

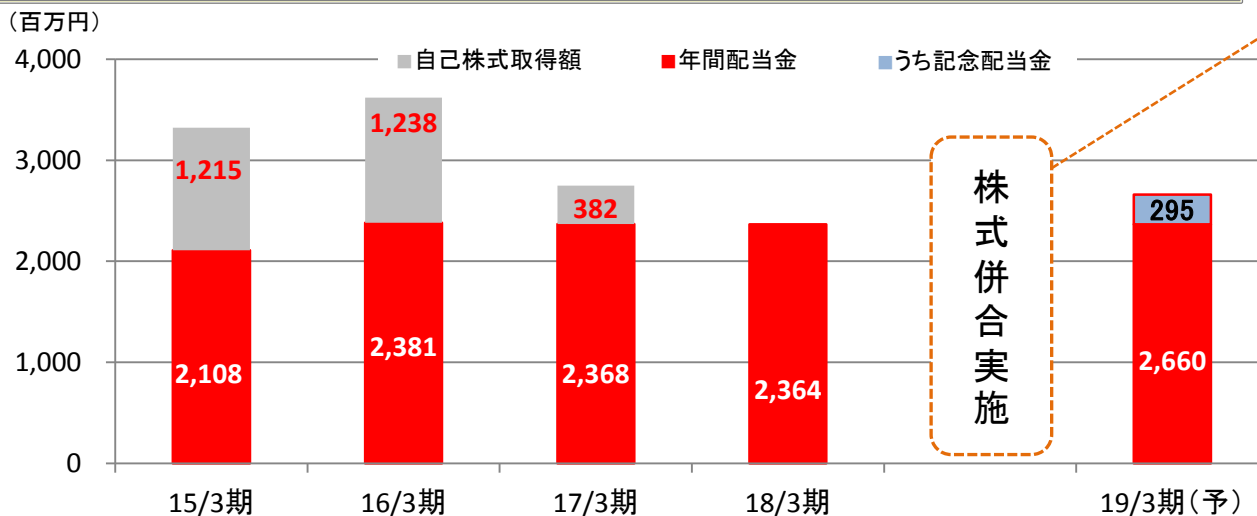
2018年10月1日

◆ 単元株式数の変更

1,000株→100株

◆ 株式併合

10株→1株



1株あたり
年間配当

70円

80円

80円

80円

90円

うち記念
10円

（注）2015/3期より、株式併合（10株を1株）をしているものとして表示しております。

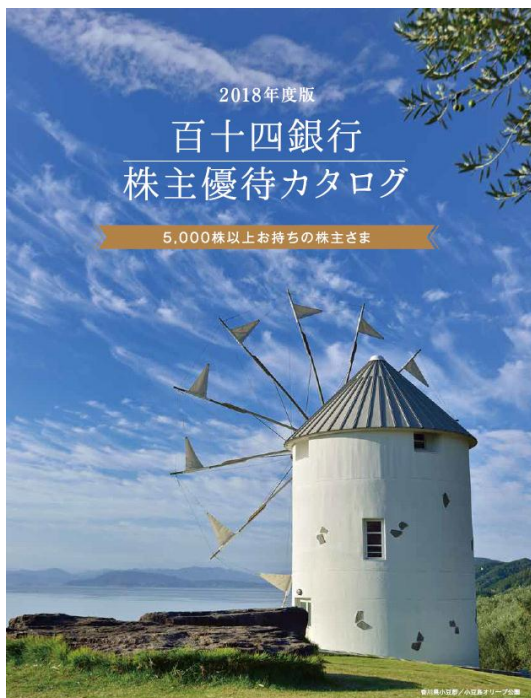
株主さまへの還元②（株主優待制度）

- 株主還元の一環として、株主優待制度をご用意しております。
- 地元香川県の特産品を掲載したカタログからお選びいただけます。

株主優待制度の概要

* 株式併合により、100株以上保有の株主さまが対象となります

対象となる株主さま	毎年1回、3月末現在で100株以上ご所有の株主さま	
概要 保有株数に応じて 専用カタログを送付	保有株数100株以上500株未満	2,500円相当の香川県産品
	保有株数500株以上	5,000円相当の香川県産品

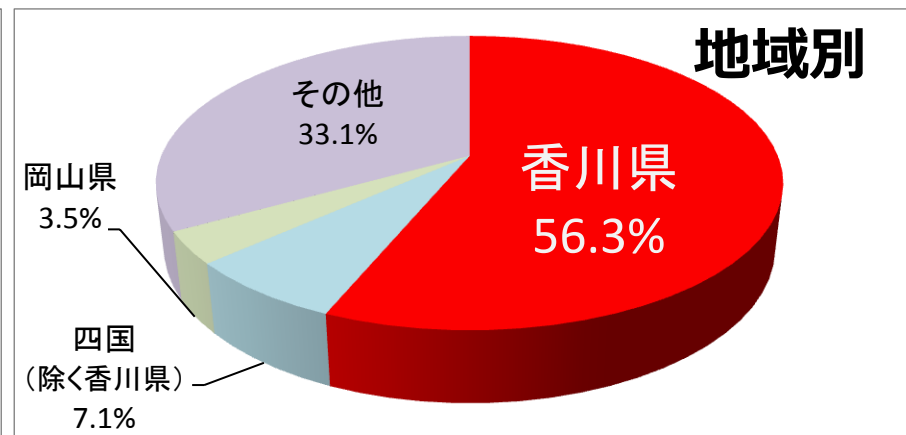
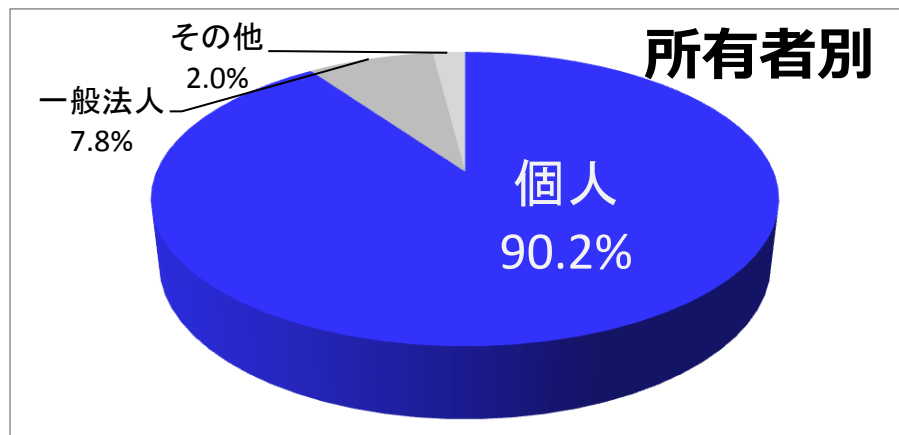


*画像は地元特産品のイメージです。

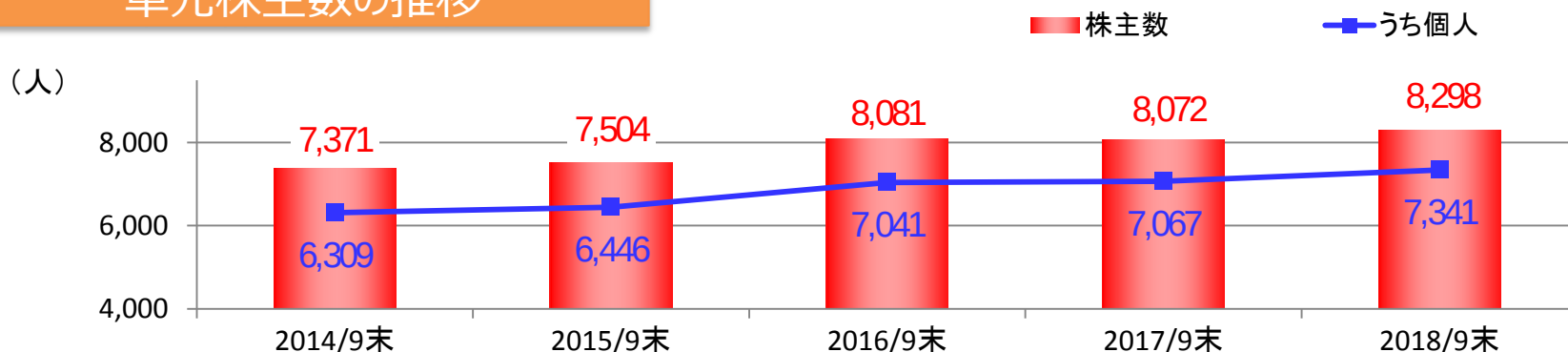
株主さまへの還元③（株主構成の状況）

■ 当行の株式は、地元香川県の個人の皆さまを中心にご所有いただいております。

株主構成

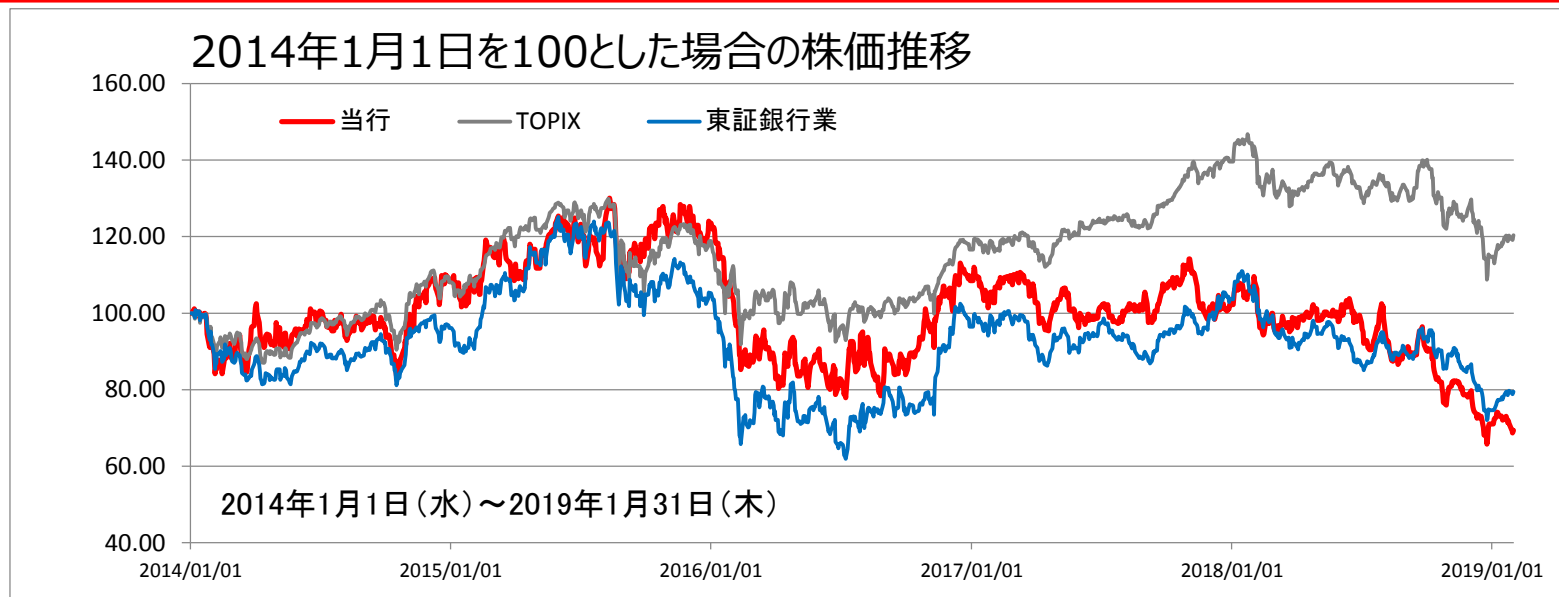


単元株主数の推移



当行株価の推移

■ マイナス金利政策に伴う資金利益低下見通しから、銀行銘柄の株価は低迷していますが、配当利回り等の観点からは是非投資対象としてご検討ください。



	当行	銀行業平均	東証一部平均
株価(2019年1月31日)	2,534円		
1株あたり配当金(2018年度)	90円 ^(注)		
配当利回り	3.55%	3.01%	2.02%

(注)記念配当10円を含む

VII. まとめ

① 歴史ある広域店舗網と地元での高いマーケットシェア

- 地元と県外のお客さまの“縁”を取り持ちます

② 持続的成長につながる取組みを着実に展開

- 金融の垣根を越えて地域の「ありたい」にとことん関わります

③ 安定的な株主配当と地元特産品を中心とした株主優待

- 当行株式は地元香川県の個人の皆さまを中心に保有されています

本日は、ありがとうございました。

本説明資料や I R 全般に関するご意見、ご感想、お問い合わせは、下記までお願いいたします。

株式会社百十四銀行 経営企画部 経営企画グループ

電 話	087(836)2787
-----	--------------

F A X	087(836)3677
-------	--------------

E - m a i l	keiki.kikaku@114bank.co.jp
-------------	----------------------------

HPアドレス	http://www.114bank.co.jp/
--------	---

事前に百十四銀行の許可を得ることなく、本資料を転写・複製し、または第三者に配布することを禁止いたします。本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部または一部は予告なく修正または変更されることがあります。なお、本資料に含まれている将来の業績に係る記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、将来の業績は経営環境の変化等の様々な要因により変動する可能性がありますことにご留意ください。